

しろくま つうしん

第7号



Hungry

© @ butabulo

朝晩が冷えてきて、久しぶりに冬を思い出しますね。これから本格的な冬が来ると思うと、嬉しいような、あの暑い日々が恋しいような。人間というのは勝手なものです。

タイJNTOイベントに行ってきました

渋温泉旅館組合がタイのバンコクで開けるJNTO(日本政府観光局)が主催する旅行フェアに出展するということで、応援に行ってきました。週末しかアテンドできなかったのですが、本当にイベントに来てくれる人の多さにびっくりしました。タイでは日本旅行が人気、というのを自分の目で見て、実感できました。渋温泉と山ノ内町の情報も人気で、最終日を持たずに持って行ったパンフレットが品切れになるという人気っぷりでした。ブースのモニターでは夏祭りに来てくれたタイのアイドルグループで、山ノ内町の観光大使であるCG

M(チエンマイ)48が町内を散策する映像を流し、タイの方々に山ノ内町をPRさせていただきました。タイは物価が安いイメージだったので、ショッピングモールで食事すると日本と大して変わらない物価でした。



ベイル町訪問

国際友好交流協定を結んでいるアメリカ合衆国コロラド州・ベイル町を山ノ内町代表団を組織して訪問してきました。別ページで詳しく報告しますが、ベイル町の町長さんにとっても暖かくウエルカムしていただき、さまざまなお話で話し合いました。まずは子どもたちの交流を再

開させ、自治体同士も情報交換を進めます。しかし、さすが全米ナンバー1のリゾートと言っても過言ではないベイル町。見習うべきことはたくさんありました。

町村会産業経済部会

長野県の町と村が集まり会議を開いている町村会では、私は産業経済部会に所属しています。自治体から県への要望などを取りまとめるのですが、スキー場について他の自治体から議題が出ました。私も将来的なスキー場の存続についての危機感を述べさせていただきました。県内ほぼ全体的にスキー場で老朽化が問題になっており、県としてもリフトやゴンドラ設備更新などに注力して、将来的なサポートを視野に入れて調査を進めているようです。

また、観光税についても調査・検討が始まったようです。観光税については、国が違うので扱いが異なりますが、ベイル町ではリフト税、宿泊税などをお客様から徴収しており、それらを財源にしてバスの無料化や、街中の融雪道路

などを維持管理しています。山ノ内町もこれからの時代に合う観光のあり方を検討しなければならぬ時期に来ていると感じています。

湯田中駅前 山ノ内インフォメーションセンターオープン!

新しくスタートした「まちづくり観光局」の1つ目の事業として、湯田中駅前に観光案内所をオープンします。コロナが落ち着いてきたこの冬は、昨年よりも多くの外国人観光客が見込めるので、まずは観光案内やお土産販売、荷物預かりなどを湯田中駅前で行います。まだ予算や人員が揃っていないので、正式稼働は来年の4月を予定しています。いまやスノーモンキーは世界中の誰もが知る日本の観光コンテンツになりました。そんな町だからこそ、旅行者には良い思い出を持って帰ってもらいたいし、山や温泉、果樹などの山ノ内町の素晴らしさを知っていただきたいと思っています。ぜひ皆さんも駅前の観光案内所にお気軽にお立ち寄りください!

リンゴを送りました

ほなみ保育園の園児が役場に植えてあるリンゴの収穫を行いました。このリンゴの木は、密雲区(中国)と友好交流提携を結んだ時に密雲区の訪問団と植樹したものです。収穫したリンゴは、町内の保育園のほか、友好交流都市提携を結んでいる玉村町(群馬県)に送りました。(収穫の様子は、27ページをご覧ください。)



▶ほなみ保育園園児たち